

2025年10月2日

東急不動産ホールディングス株式会社

GRESB リアルエステイト評価で最高位「5 スター」初取得 GRESB 開示評価は 9 年連続最高位「A」

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川 弘典、以下「当社」）は、不動産会社・ファンドを対象として ESG への取り組みを評価する GRESB リアルエステイト評価において、既存物件ポートフォリオに関する評価である「スタンディング・インベストメント・ベンチマーク」で上位 20%以内が取得できる最高位評価「5 スター」を、2020 年度の参加以来初めて取得したことをお知らせいたします。

また、ESG 推進に関する戦略やガバナンス、組織体制などを評価する「マネジメント・コンポーネント」ならびに、実際の保有物件での環境パフォーマンスやテナントとの取組等を評価する「パフォーマンス・コンポーネント」の両方において、優れた企業であることを示す「グリーンスター」の評価を、初参加より 6 年連続で取得しました。



G R E S B
R E A L E S T A T E
★ ★ ★ ★ ★ 2025



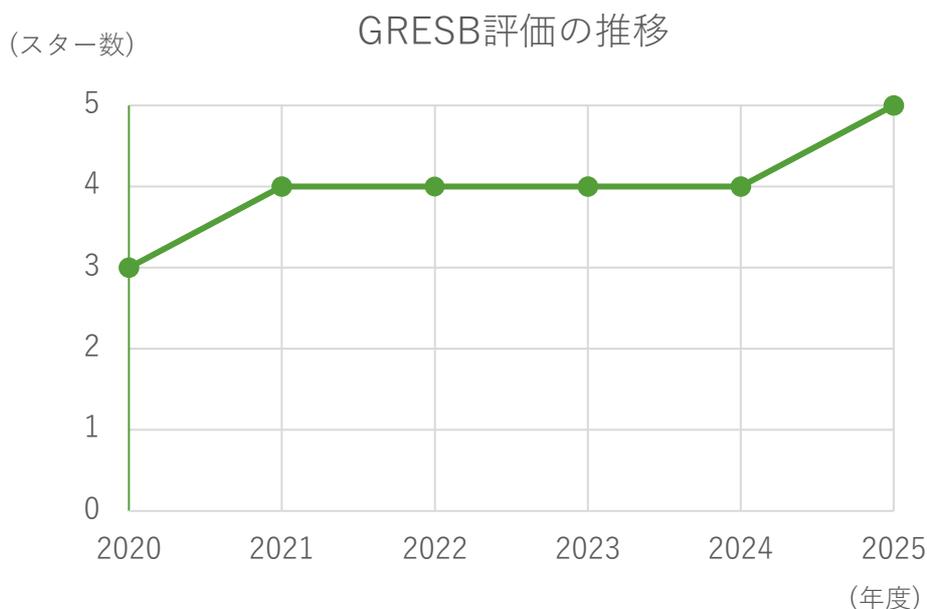
G R E S B
Public Disclosure 2025

また、GRESB 開示評価は最上位「A」評価を 9 年連続で受けており*¹、2025 年度評価では 4 年連続で 100 点満点のスコアを取得いたしました。

*¹GRESB 開示評価は、GRESB が当社開示を評価するもので、2017 年度より評価されています。

■評価結果について

当社は、初参加の2020年度は3スター、2021年度より4年間4スターを取得してまいりましたが、今回最高評価の5スターを取得できたのは、当社グループの各種方針やステークホルダーエンゲージメントなどのマネジメントやエネルギー管理やグリーンビル認証割合の高さなどのパフォーマンスが高く評価されたことと思われまます。また、2021年に策定した長期ビジョンで「環境経営」を全社方針として掲げており、ESGにかかわる経営課題への当社グループの取り組みと併せて、将来にわたり持続的成長が期待できる企業としての評価をいただいたことの結果ととらえております。



当社グループでは長期ビジョン「GROUP VISION 2030」においても「事業活動を通じた社会課題の解決」を掲げており、引き続き持続的成長と長期的企業価値の向上に取り組んでまいります。

■GRESBについて

GRESBは、不動産会社・ファンドの環境・社会・ガバナンス（ESG）配慮を測る年次のベンチマーク評価および同評価を運営する組織の名称であり、責任投資原則（PRI）を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に2009年に創設されました。

投資先の選定や投資先との対話にGRESBデータを活用する投資家メンバーは、現在約150機関に上り、日本でも、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）をはじめ、複数の機関が投資をする際の指標としてGRESB評価結果を利用しています。2025年に実施されたGRESBリアルエステイト評価には、世界で2,382（2024年は2,223）の上場・非上場の不動産会社・ファンドが参加しました。

評価制度の詳細は、GRESB公式サイトをご覧ください。<https://gresb.com>

■東急不動産ホールディングスグループのサステナビリティへの取り組み

東急不動産ホールディングスは2021年に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。多様なグリーン力で2030年にありたい姿を実現していく私たちの姿勢を表現する「WE ARE GREEN」をスローガンに、「環境経営」「DX」を全社方針として取り組んでいます。

中核企業である東急不動産では「環境先進企業」をめざして様々な取り組みを積極的に進めております。2022 年末には事業所及び保有施設^{※2}の 100%再生可能エネルギーへの切り替えを完了し、2024 年には RE100 事務局より「RE100」の目標達成を、国内事業会社として初めて認定されました。

2025 年 5 月には東急不動産ホールディングスは 2030 年度を目標年度とする「中期経営計画 2030」を策定し、「広域渋谷圏戦略の推進」「GX ビジネスモデルの確立」「グローバルビジネスの拡大」の 3 つの重点テーマに取り組み、強固で独自性のある事業ポートフォリオの構築をめざします。

※2 一部の共同事業案件などを除く。

■当社が選定されている代表的な ESG 投資指数

FTSE4Good Index Series	FTSE Blossom Japan Index	FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	S & P / J P X カーボン・エフィシエント指数	GRESB
				
ロンドン証券取引所のグループ企業である FTSE Russell 社により開発された株式指標。2010 年以降、2025 年まで、通算 16 年連続(※1)で選定されています。	2017 年より創設された、ESG について優れた対応を行っている日本企業の指標。9 年連続選定されています。年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF、以下同様) が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	2022 年より新たに創設された、ESG についてセクター毎に ESG Rating が高い日本企業を選定した指標。4 年連続選定されています。GPIF が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	ESG のうち環境に着目した株価指数で、TOPIX (東証株価指数) の構成銘柄を対象に、環境情報の開示状況と炭素効率性 (売上高あたりの炭素排出量) を考慮して、指数への組み入れ比率が決定されています。GPIF が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	GRESB リアルエステイト評価において、「スタンディング・インベストメント・ベンチマーク」で最高位「5 スター」および「グリーンスター」を取得。GRESB 開示評価は 9 年連続最高位「A」を取得し、4 年連続で 100 点満点のスコアを取得しています。
MSCI Selection Leaders	MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数	MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN)	CDP	CDP サプライヤー エンゲージメントリーダー
				
米国 MSCI 社により開発された、環境・社会・ガバナンス(ESG)の評価が高い企業で構成された指数です。この指数は、各業種内で ESG 評価が相対的に高い企業を選別し、機関投資家が ESG 投資を行う際のベンチマークとして利用されます。	MSCI 社が開発した ESG 総合型指数で、各業種の中から ESG 格付けが相対的に高い企業を選別して構成されています。GPIF が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	MSCI 社が開発した ESG テーマ型指数で、女性活躍推進法により開示される女性雇用に関するデータに基づき、各業種から性別多様性スコアの高い企業を選別して構築されています。GPIF が ESG 投資のための株式指数として採用しています。	国際環境非営利団体 CDP が実施する気候変動に関する企業調査で、気候変動対策において最高評価の A リストに 2021 年より 4 年連続で選定されました。また 2024 年には、水セキュリティにおいても、A リストに選定されています。	国際環境非営利団体 CDP が実施する、温室効果ガス Scope3(上流)排出量の把握と削減目標設定、およびサプライヤーとのエンゲージメントに関する企業の取り組みを評価する調査で、最高評価の A (リーダーシップ) に 2020 年より 5 年連続で選定されました。

(関連ニュースリリース)

ESG 投資指数「FTSE 4 Good Index Series」構成銘柄に 16 年連続で選定 ～全業種で国内第 6 位の「スコア 4.8」を取得～

このほか、東急不動産ホールディングスグループの ESG への取組みについては、当社コーポレートホームページの サステナビリティサイト をご覧ください。

東急不動産ホールディングス「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

東急不動産ホールディングス「中期経営計画 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/mgtpolicy/mid-term-plan>